

# インパクト志向金融宣言

第5回総会兼第19回ワーキングレベル会合

2026年4月23日 09:30～11:30

オンライン・リアル同時開催

インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

# 本日のアジェンダ

1. 定足数確認、議長選出(決議)
2. 新規加盟機関ご挨拶

## 【決議事項】

3. (第1号決議事項)第15条第9項に基づく2025年度年次事業報告の件
4. (第2号決議事項)第15条第8項に基づく2025年度決算報告の件
5. (第3号決議事項)第15条第4項に基づく運営委員の選定の件
6. (第4号決議事項)第15条第5項に基づく監事の選定の件
7. (第1号審議事項)今後のWL会合運営方針について
8. (第5号決議事項)第15条第1項に基づく運営規程の改定の件
9. (第6号決議事項)第15条第7項に基づく2026年度年間事業計画の件
10. (第7号決議事項)第15条第8項に基づく2026年度予算の件

## 【報告事項】

11. (第1号報告事項)各分科会からの報告
12. (第2号報告事項)事務局報告事項

# 定足数確認・議長・副議長選出

- 定足数の確認
- 議長の選出(決議)
  - 運営規程第16条に基づき、**運営委員会委員長**の議事運営により、総会の議長を選出する。

# 新規署名機関の紹介

- 4月1日時点署名機関数は77社(署名金融機関67社、署名協力機関10社)

署名日	署名金融機関	署名協力機関
4月1日付	UNLEASH Capital Partners株式会社	
4月1日付		GLIN Impact Consulting株式会社
4月1日付		株式会社Sinc

# 第5回代表者総会兼第19回WL会合議案書

(2026年4月23日)

## 【決議事項】

- (第1号決議事項) 第15条第9項に基づく2025年度年次事業報告の件
- (第2号決議事項) 第15条第8項に基づく2025年度決算報告の件
- (第3号決議事項) 第15条第4項に基づく運営委員の選定
- (第4号決議事項) 第15条第5項に基づく監事の選定
- (第1号**審議**事項) 今後のWL会合運営方針について
- (第5号決議事項) 第15条第1項に基づく運営規程の改定
- (第6号決議事項) 第15条第7項に基づく2026年度年間事業計画
- (第7号決議事項) 第15条第8項に基づく2026年度予算の件

## 【報告事項】

- (第1号報告事項) 各分科会からの報告
- (第2号報告事項) 事務局報告事項

2026/4/13時点  
3/26配布版より順番を変更

- 別資料

- 別資料

## (決算概要)

## 【活動状況】

収益: 3,445万円

主な収益: 会費収入2,947万円

支出: 1,168万円

主な収益: 人件費 967万円

## 【財務状況】\* 貸借対照表

資産: 2,277万円

(100%現金)

負債: 0万円

当期正味財産増減額: +2,277万円

1. コミュニティ・バンク京信 ソーシャル・グッド推進部 部長 石井 規雄
2. **第一生命保険株式会社 責任投資推進部長 本多 勇一( 3月より就任)**
3. 三菱UFJ信託銀行株式会社 MUFG AM サステナブルインベストメント フェロー 加藤 正裕
4. 三井住友信託銀行株式会社 シニアアドバイザー 金井 司
5. 株式会社肥後銀行 サステナビリティ推進部サステナビリティ企画グループ グループ長 坂口 尚
6. みずほ証券株式会社 サステナビリティ推進部 部長 末吉 光太郎
7. 株式会社DGインキュベーション シニアプリンシパル 堤 世良
8. GLIN Impact Capital有限責任事業組合 代表パートナー 中村 将人
9. 株式会社SBI新生銀行 執行役員 長澤 祐子
10. 株式会社かんぽ生命保険 執行役 運用企画部長 野村 裕之
11. UntroD Capital Japan株式会社 取締役 藤井 昭剛 ヴィルヘルム
12. りそなアセットマネジメント株式会社 常務執行役員責任投資部担当 松原 稔
13. **株式会社三菱 UFJ銀行 サステナブルビジネス部 サステナブルファイナンスチーム調査役 谷ヶ崎 真尚**

#### 第6章 運営委員会 第25条(構成)

5. 運営委員になることを希望する署名金融機関は、前項の規定により運営委員の選任を行う定時総会の 20 日前までに事務局宛にその旨を書面にて提出するものとする。運営委員を希望する者が第 2項の定員より多い場合は全署名機関による投票により決定する。

- 明治安田生命保険相互会社 運用企画部 責任投資推進部長 細川 真典氏
- 株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役 青木 武士氏

## アンケートのご意見

## 1. 開催頻度と方法

- 参加者の時間的負担を考慮し、最高議決機関としての意思決定は年1回で十分。
- 機関決定は事前説明・調整を済ませ、形式的な運営で十分でリアルにこだわる必要はない。

## 2. 議論・ディスカッション形式の見直し

- 「何を実現する場なのか」について意思決定の場(総会)と、議論・インプットの場(WL)を明確に切り分けるべき。
- **グループディスカッションの形骸化**：他の勉強会と同様のメンバー・内容になりがちで、有益性に欠ける。

- **個別連携の優先**：深い議論はWL会合の外で個別に行う方が効率的であり、会合では無理に議論を強いるより、有益な情報共有(マーケット動向、事例発表等)に時間を割くべき。
- **ターゲットの最適化**：「幅広いメンバーでの意見交換」はイメージが湧きにくく、参加者のレベルや関心の差を埋める工夫が必要。

## 3. ネットワーキングと実利の追求

- **信頼関係の構築**：最大の価値は、決定権者や実務担当者が直接つながる点。
- **実践への接続**：単なる議論で終わらせず「他社と具体的に何をすべきか」という投融资創出に向けた具体的な連携の場にすべき。

## ガバナンス4層構造の機能別診断



## 変更の方向性

1. 総会は基本的には年1回とし、臨時で招集する必要がある場合は臨時総会とする。重要議案については事前説明の場を設け、決議方法はリアル / オンライン / 書面決議を適切に使い分ける。**目的は、年次の決議事項(以下) + 現状活動の情報共有とする**
  - 運営委員の選任及び解任/年間事業計画・中期計画の承認/予算・決算の承認/年次事業報告の承認/監事の承認
2. 必要に応じて年に3~4回程度、リアルを基本とした対話・議論の場を設計する  
アンケートやヒアリングを踏まえ、関心のあるテーマを取り上げ実施する  
国内先進事例の紹介/実務担当者が登壇し現場や実務の視点を知ることが出来るもの  
ケーススタディなどを参加型で行うもの/海外ゲストを招いて先進的な内容を学べるもの/ディスカッション形式でお互いの悩みを共有できるもの/分科会等で議論されていることの深堀
3. リアルの場は有益なネットワーキングとなるよう設計する

- 別資料

- 別資料

- 別資料

分科会	座長
地域金融	金井さん/鄭さん
VC	堤さん/秦さん
融資・債券	末吉さん/清水さん/橋爪さん
AO/AM	安間さん//宮本さん/坂本さん
ICEA	安間さん
ソーシャル指標	松原さん/石井さん
インパクト志向金融枠組み検討会	水口先生(事務局)

# ガイダンスの主要改定ポイント

## 別紙ガイダンス参照

### 全体構成:

- 算入基準ガイダンスから、プログレスレポート&算入基準ガイダンスに変更

### 前回ガイダンスからの主な変更点:

- マトリックスの横軸を、テーマ(環境、社会、環境&社会)からアセットクラスに変更
- 残高をプログレスレポートに開示出来ない場合は、その理由を記載
- インパクト志向金融経営についての説明をPart2に追加

### 変更はないが記載を明確にした点:

- インパクトファイナンスとは呼べないが、その周辺領域と位置付けられるレベルをインパクトレディ・ファイナンスと整理
- レベル1+2の合計金額については、地域別(国内、海外)の内訳も報告するよう記載
- 融資・債券向けに、融資債券分科会のレポートの参照について記載

# プロGRESSレポートのスケジュール

## プロGRESSレポートに関するスケジュール

- 署名機関向け説明 ⇒4月上旬(済)
- ガイダンス最終化 ⇒4月中旬
- 運営委員会にて承認 ⇒4月20日
- 調査開始(GSG Impact JAPANと共同の調査票) ⇒4月下旬頃
- 締め切り⇒7月末

## IDFI 5周年／GIIN Japan1周年記念カンファレンス企画 ～インパクト志向金融のこれまでと今後の5年間、そしてその先へ～

目的: 「インパクト志向金融」のこれまでと今後の方向性 (IDFI設立5周年、GIIN Japan設立1周年)

- 日本においてインパクト志向金融宣言が設立され5年がたつ2026年、これまでの歩みと日本におけるインパクトファイナンスの深化を振り返り、また、海外のインパクト業界をけん引するゲストとともに、日本のインパクトファイナンスの特徴・現状について発信する
- トランプ2.0時代において、世界が置かれているインパクトファイナンスの状況やこれまでの成果や課題を真摯に振り返り、今後の「インパクト志向金融」のあるべき姿とインパクトファイナンス業界が進むべき方向性を議論する。
- 実践者に対して役に立つ個別・ワークショップも同時に実施する。

### 対象オーディエンス

#### [全体セッション]

- インパクトファイナンスに関心はあるがまだ実践には至っていない金融関係者
- 海外の動向に関心がある企業関係者
- サステナビリティテーマに関心のある学生・若手社会人

#### [個別深堀セッション]

- インパクトファイナンスを実践しているが、課題感を持っている各金融機関(地銀、VCその他)
- インパクトファイナンスを受けている・受けたいと考えている企業関係者

### 日程・場所

- 9月2(水)～3日(木)
- コンGRESSスクエア日本橋

TISFDの現状と今後の行方  
~システム思考の観点から~

企業や金融機関が「人々」に関わる社会課題において、どのような影響や依存、リスク、機会に直面し、対処しているかに関する情報開示の枠組み構築を目指す国際的なイニシアチブであるTISFDは、今後何を指して、どのように進められるのか？ タスクフォースメンバーの木村氏に伺います



木村 武氏

TISFD Steering Committee  
メンバー



聞き手：今田 克司氏  
社会的インパクト・マ  
ネジメント・イニシアチブ  
(SIMI) 代表理事

インパクト志向金融宣言  
Japan Impact-driven Financing Initiative

2026

4/28

オンライン開催

14:00 - 15:30

国境を越えて創出するインパクトの最前線

2026  
5/11

インパクト志向金融宣言  
Japan Impact-driven Financing Initiative

~インパクト志向金融宣言署名機関による  
海外でのインパクト事業紹介イベント~

15:00 - 16:30  
(Networking~17:30)

官民共創HUB/  
オンライン開催



ARUN Seed  
功聡聡子氏



UNLEASH  
菅井夏樹氏



Saison International  
吉村修也氏



ミューブロックセキュリ  
ティーズ 渡部泰地氏



インパクトサークル  
高橋智志氏



Global Mobility Service  
中島 純幸氏



バンカーズ  
野中 美智代氏



Nao Sudo  
Senior Advisor to  
GIIN Japan



Takumi Kobayashi  
General Manager,  
Japan Post Insurance



Hiroshi Nonomiya  
Partner,  
Crosspoint Advisors



Philipp Müller  
CEO,  
Blue Earth Capital



Nicolas Muller  
Managing Director,  
Blue Earth Capital

スイス発ベストプラクティスに学ぶ：17億ドルを動かすBlue Earth Capitalのインパクトポートフォリオ戦略  
Learning from Swiss Best Practices: Blue Earth Capital's Strategic Approach to Managing \$1.7 Billion

When: Thursday, 14 May 2026, 11:00-13:00

Where: Congress Square Nihonbashi ACCESS Map

Lunch Provided



インパクト志向金融宣言



# 今後の予定、事務局連絡

## ■ 今後の全署名機関向けリアルイベント(旧 WL会合)

(仮)2026年 7月23日(木)

(仮)2026年 10月23日(金)

(仮)2027年 1月22日(金)